

From Ibigawa S A B O

第1回「里山探検隊」開催！ ～ナンノ谷大崩壊地を見学しました～



ナンノ谷大崩壊地



【ナンノ谷大崩壊】
明治28年(1895)8月5日(濃尾地震から4年後)、153万m3の土砂により天然ダムが形成され、1週間後に天然ダムが決壊し、旧坂内村の各集落で死者4名・流失家屋23戸の被害が出た大災害

8月30日(水) 第1回里山探検隊を開催しました。参加した隊員26名は当事務所での開校式の後、ナンノ谷大崩壊地(揖斐川町坂内川上地内)を訪れました。

事務所職員から災害時の状況の説明を受けながら、災害発生から120年以上が経過し植生は戻っているものの、災害発生前と大きく変わった地形の様子を見学しました。

その他に、「坂内白谷第1砂防堰堤工事現場」「横山ダム」などを見学し、もろかの里(揖斐川町坂内坂本)にて「手織り・プラストアート」の工芸を体験しました。



坂内白谷第1砂防堰堤工事現場



隊員の声

- ・砂防について理解を深めることができた。
- ・横山ダムの役割、堤体内の仕組みがよくわかった。
- ・普段立ち入ることができない場所を見学でき、貴重な体験ができた。



工芸体験(手織り)



「出前授業」を行いました！ in 揖斐小学校

9月5日(火) 揖斐小学校において、4～6年生の計90名の児童を対象に、若手職員が講師となって土砂災害・砂防事業の出前授業を行いました。

土砂災害の種類や砂防堰堤の役割を、児童たちが理解できるように、クイズや模型を使い説明を行いました。

また、身近で起きた土砂災害の映像を使った説明やTEC-FORCEの体験談を話すと、生徒たちから驚きの声がありました。

最後に、ご家族で災害時の避難について話し合ってもらおうよう先生よりハザードマップを用いた宿題が出されました。

クイズに一生懸命！



砂防堰堤の役割を模型にて説明

事務所玄関で木の実らがお出迎え♪

当事務所の玄関先では、秋を彩る木の实や野菜たちが来訪者の方々をお出迎えています。

玄関にいただけで秋の訪れを感じ心が和みますので、お近くにいらした際は是非お立ち寄り下さい！



※法人については文中敬称略



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: cbr-ibigawasabo@mlit.go.jp

